

厚労省の「働きやすい企業表彰」

日鉄住金工材が優秀賞

日鉄住金工材（本社）が実施した第2回働きやすい企業表彰を受賞した。企業にお場づくりの両立を促す上越市、社長・石川昌弘氏は厚労省の働きやすい企業表彰で優秀賞を受賞した。企業にお場づくりの両立を促す上越市、社長・石川昌弘氏は厚労省の働きやすい企業表彰で優秀賞を受賞した。企業にお場づくりの両立を促す上越市、社長・石川昌弘氏は厚労省の働きやすい企業表彰で優秀賞を受賞した。



石川社長

住金工材の「優秀賞」職業安定局長賞（中小企業部門）は新潟県内企業で初の受賞。

同社は労働者個人の幸せを「見える化」し、

労働者がお互いを理解し助け合うことで、高い目標をチームで達成し、高付加価値の製品づくりを実現することによって生産性を向上させたことが評価された。各労働者が個人の幸

せ、職場における目標を幸せ円グラフで見える化することで、労働者の幸せ、仕事を通じた成長、それに伴う企業の高収益（労働生産性の向上）、地域活性化支援（地域との共生）

を実現した。

また①労働者同士がお互いの貢献および協働を大切にすること②仕事の進捗の「見える化」により労働者が相互に支援し、仕事を平準化することで生産性を上げること③同時に休みを取りやすくすること④などを現場主導で実施している。

ポイントとして「かがやきサイクル」(①人・職場・会社が輝き②製品が輝き③顧客と地域が輝く)の取り組みによる職場環境改善の実施、作業工程および残業予想時間の確認

による実残業時間の削減および有給休暇取得率の向上、製造部門と営業部門の協働体制による顧客ニーズに真意合致した製品の開発の実現が評価された。

受賞について石川社長は「働き方改革で社員がポジティブなマインドになり、収益向上の経営体質改善と顧客満足度向上の経営品質活動に積極的に取り組み、労働生産性が著しく向上した」

「本受賞はゴールではなく、新たなスタート。未来をクリエイトする会社を目指し、当社の強みであるメタルテクノで、更なるイノベーションに挑戦する」と語った。

「本受賞はゴールではなく、新たなスタート。未来をクリエイトする会社を目指し、当社の強みであるメタルテクノで、更なるイノベーションに挑戦する」と語った。

3月6日

2018年
(平成30年)

火曜日

第19032号(日)

土、日曜・祝日は休

Metal & Technology

鉄鋼新聞

北陸・信越版

中日本ネットワーク

東海・信越・北陸

JAPAN METAL BULLETIN
Local Network

日鉄住金工材

働きやすい職場で表彰

新潟県内初の「優秀賞」



新潟初の優秀賞(右が石川社長)

【新潟】厚生労働省新潟労働局は2日、第2回「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」で、日鉄住金工材(上越市、石川昌弘社長)が県内初の「優秀賞」(職業安定局長賞(中小企業部門))を受賞したと発表した。労働者個人の幸せを「見える化」。労働者がお互いを理解し助け合うことで高い目標をチームで達成し、高付加価値の製品づくりに実現することで生産性を向上させた。

「幸せ円グラフ」と呼ぶ取り組みを通じて、各労働者が個人の幸せと当該労働者の職場における目標を「見

ていることが評価される化」。これによる労働者の幸せや仕事を通じた成長、それに伴う企業の高収益(労働生産性の向上)、地域活性化支援(地域との共生)を実現した。

また、労働者同士がお互いの貢献と協働を大切にする。仕事の進捗の「見える化」により労働者が相互に支援する。仕事を平準化することで生産性を上げると同時に休みを取りやすくする、などの活動を現場主義で実施した。

日刊産業新聞ネット版
<http://www.japanmetal.com>

「働きやすく生産性の高い企業・職場表彰」は、企業における生産性向上と雇用管理改善(魅力ある職場づくり)の両立の取り組みを促進するため、厚生労働省が昨年度から実施している。今回は全国88の企業・職場から応募があり、「最優秀賞」(厚生労働大臣賞)に3社、「優秀賞」(職業安定局長賞)に4社、「キラリと光る取り組み賞」(職業安定局長賞)に5社の合計12社が選ばれた。